

令和4(2022)年

9月1日

第256号 毎月発行

編集 公民館だより編集室
発行 西東京市公民館

毎月第4月曜日は休館日です

西東京市

公民館だより

市ホームページをご活用ください!

今月号に掲載の講座一覧は、市ホームページでもご覧いただけます。詳細情報やチラシを掲載している講座もありますので、ぜひご確認ください。



柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211
田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825

kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸

女性のための講座

これだけは知っておきたい！ 身近な世界を知る講座

保育付き

世界で今起きていることが、私たちの暮らしにつながっていることを最近特に感じませんか。私たちの身近な問題として地域の仲間と一緒に学びましょう。

時 9月29日～12月15日 木曜日 10時～11時45分 全11回 ※保育説明会 9月22日(木)

場・対 谷戸公民館・市内在住、在勤、在学の女性

定 16人(申込多数の場合は抽選)

内 ジェンダー平等って？ 私たちとSDG5/ウクライナ及び世界の難民支援の現場から/映像で学ぶパレスチナ/ミャンマーは「今」ほか
講 新井浩子(早稲田大学文学学術院講師)、後藤絵美(東京外国語大学助教)、紺野誠二(難民を助ける会プロジェクト・コーディネーター)、ナンマケケカイン(京都精華大学准教授)ほか

¥ 330円(保育麦茶代)

保 6か月以上就学前の乳幼児8人(1歳未満は3人程度)

申 9月15日(木)12時までに電話かメールで谷戸公民館へ



芝久保

多世代交流講座

五感でアート 農&美術でコミュニケーション

創作することを楽しむ五感でアートと里芋掘りを子どもと大人で体験してみませんか。自分で掘った里芋が作品のモチーフになります。

時 10月15日(雨天の場合16日)・23日、11月6日 土・日曜日 10時～12時 全3回

場 芝久保公民館、野菜の濱野

対 小学生以上の市内在住・在勤・在学者

定 14人(申込多数の場合は抽選)

※全回参加可能な方、初めての方優先

内 ①畑で里芋掘り②③五感でアート1・2

講 大野恭裕・谷いつ美(臨床美術士)ほか

¥ 900円(里芋、用紙、画材代)

申 9月12日(月)9時から9月30日(金)17時までに電話かメールで芝久保公民館へ

保育付き講座の受講を希望する方へ

- 保育付き講座に初めて参加する方を優先します。
- 同時期に複数の保育を利用することはできません。
- メール申し込みの場合は、氏名・電話番号・住所・保育希望の有無・子の名前(ふりがな)・子の生年月日・保育付き講座受講経験有無を明記してください。
- 保育説明会には必ず参加してください。

電話での講座申し込みは、平日9時～17時をお願いします。

メールでの講座申し込み方法

アドレス：1面上部参照

件名：講座名

本文：氏名(ふりがな)・電話番号・住所・年代

※後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、電話でお問い合わせください。

ひばりが丘

子育て中の女性のための講座

わが子を守る災害への備え ～はじめての一步～

保育付き

家族を守るための具体的な備えについて学びませんか？

時 10月14日～令和5年2月10日 金曜日

10時～11時45分 全13回

※保育説明会 10月13日(木)

場 ひばりが丘公民館

対 市内在住の子育て中の女性

定 12人(申込多数の場合は抽選)

内 詳細は、市ホームページまたはチラシをご覧ください。

講 小野修平(ジョージ防災研究所代表)ほか

¥ 390円(保育麦茶代)

保 6か月以上就学前の乳幼児8人(1歳未満は3人程度)

申 9月16日(金)12時までに電話かメールでひばりが丘公民館へ



田無

地域から孤立をなくすヒント5

ひきこもり当事者と家族の 対話の可能性をひらく

「ひきこもっていても日常的に家族と話をしている人は7割」という調査結果があります。「ひきこもり」の問題から一歩踏み出すために、「家族のコミュニケーション」について体験的に学びます。

時 9月18日、10月2日・16日 日曜日

14時～16時 全3回

場 田無公民館

対 市内在住・在勤・在学者、ひきこもり当事者と家族の方優先

定 25人(申込順)

内 ①語られることがなかった家族の対話②ひきこもり親子クロストーク③オープンダイアローグ

講 森田智子(NHKディレクター)、ほそと池井多(『HIKIPOS』編集委員)、鈴木剛(精神保健福祉士、社会福祉士)ほか

申 9月16日(金)17時までに窓口または電話かメールで田無公民館へ

保谷駅前

高齢者対象講座・共催事業

私だけの人生ノートづくり

西東京市で受けられる介護や医療等のサービスを学び、「私の人生ノート」を作りましょう。

時 9月30日、10月7日・10月14日 金曜日

14時～16時 全3回

場 保谷駅前公民館

対 市内在住・在勤の60歳以上の方で全回参加できる方(初めての方優先)

定 25人(申込順)

講 ①安岡厚子(NPO法人サポートハウス年輪理事長)②地域包括支援センター職員③地域包括ケアシステム推進協議会

申 9月5日(月)10時から電話で保谷駅前公民館へ ※高齢者支援課との共催

柳沢

地域づくり未来大学

～地域課題を捉え、

まちの豊かさを考える第一歩～

子どもの貧困、ヤングケアラー、若者の生きづらさ、フレイル、つながりや居場所の拡充等、社会問題への理解を深めながら、地域課題を捉えます。参加者の交流や「学び」を通して、地域で何ができるか考えましょう。

時 9月17日～3月11日 第1・3土曜日(一部変更あり) 10時～12時15分 全12回

場・対 柳沢公民館・市内在住、在勤、在学者

定 20人(申込順)※初めての方優先

内 前半：講義とグループワークにより地域課題を抽出。後半：活動企画書の作成に向けたグループワーク。最終回は発表と修了式。

講 岩松真紀(明治大学非常勤講師)、中村晋也(ヤギサワベース代表)、田中悠美子(立教大学コミュニティ福祉学部助教)、池田和嘉子((公財)日本女性学習財団)、石田裕子(放課後キッチン・ごろご代表)、市川望美(非営利型株式会社Polaris取締役)ほか

申 9月2日(金)10時から電話かメールで柳沢公民館へ

保谷駅前

社会問題講座・共催事業

不登校の子どもたちと共に 歩む社会

不登校の児童生徒数は過去最多33万人ともいわれています。私たち大人は、この事実から何を学ぶべきか、一緒に考えましょう。

時 9月25日～10月30日 日曜日(23日を除く) 10時～12時 全5回

場・対 保谷駅前公民館・市内在住、在勤、在学者(不登校のお子さんの保護者優先)

定 25人(申込順)

講 長谷川俊雄(白梅学園大学教授)、高橋薫(西東京市ニート・ひきこもり対策事業「We」担当者)、高島美希(産業カウンセラー)、荒井文昭(東京都立大学教授)ほか

申 9月5日(月)10時から電話で保谷駅前公民館へ ※I P P O不登校を考える親の会・つくしの会・でぼこ西東京との共催

谷戸

インクルーシブな社会をめざす講座・親子講座

みんなで楽しくアート!

みんなで相談しながらいろんな色のテープを巻いたり渡したりして、カラフルな森をつくりましょう。

時・場 10月1日(土) 14時～16時・谷戸公民館

対 5歳から小学2年生までの子どもとその保護者

定 6組(申込多数の場合抽選)

講 山田修平(東京学芸大こども未来研究所副理事長)

協力 社会福祉法人ウーノ(障がいのある人が働く事業所を開設)

申 9月15日(木)17時までに電話かメールで谷戸公民館へ



時とき 場ところ 対対象 定定員 内内容 講講師 費用等 保保育 持持ち物 申申込

声の「公民館だより」をお届けしています。知り合いで希望される方がいらっしゃいましたら、谷戸図書館(電話042-421-4545)へお問い合わせください。